

増田院長の 今日もニコニコ😊 VOL.24

院長
増田 剛



今回は前回に引き続いて当院自慢の関節診療の続きで、「再生医療」という、ちょっとドキッとする名前の治療についてのお話です。有名野球選手が受けた治療としてご存じの方も多いかと思います。治療を受け、症状が改善した患者さんの声を聴くにつれ医学の進歩の凄さをつくづく実感するところです。後に控える人工関節置換と併せて、関節に関わる悩みにトータルに対応出来るようになったと感じています。まずはご相談にお出下さい。

本号には新型コロナウイルス感染症拡大の局面での当院の感染対策についても触れさせていただきました。先の見えないパンデミック状況ではありますが、きちんとした感染対策こそが、日々の生活を安定化する保障になると思います。当院は一貫して感染対策に注力し続けていますのでご安心下さい。必要な検査や継続的な治療を要する方は、決して受診控えなどなさらぬよう宜しくお願い致します。



虹の投書箱だより 投書のご紹介

新型コロナウイルス感染症の影響でボランティアの人がいなくなり、とてもさびしいし不便です。1日も早く復活させてください。患者はボランティアの声かけがとてもありがたいです。

このたびは虹の箱への投書を頂きありがとうございます。

ボランティア ひとつぶの会運営委員会で投書内容を共有させて頂きました。私たちの活動に対して評価して頂き、また期待もして頂き、嬉しい気持ちになりました。

今は、新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティア活動が安全に実施できる範囲を病院と相談しながら検討・決定しており、以前と同じ活動が出来ない状況にあります。今後、外来案内が再開できる時期になりましたら、病院にいらっしゃる方々のご支援が出来るよう、努力していきたく思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(ボランティア ひとつぶの会 ボランティア担当職員 看護部長 見川葉子)

季刊

ふれあい 冬号 No.24

2020年12月

〒333-0831 川口市木曾呂1317
Tel.0570-00-4771
ホームページ
http://www.kyoudou-hp.com



協同病院の 再生医療の最前線



整形外科部長
桑沢綾乃 医師

フードパントリーにみなさまの温かいご支援を心よりお待ちしております。

埼玉協同病院と老人保健施設みぬまでは、毎月最終土曜日にフードパントリー(生活に困っている人々に食料を無料配布する地域拠点)を実施しています。

フードパントリーで配布する食品などは、私たちの活動にご賛同いただける一般家庭・企業や農家のみなさんからのご支援により支えられています。みなさまのご協力をおねがいいたします。また、活動日のボランティアも募集しています。

食品についての 注意点



- 賞味期限が明記され、2か月以上あるもの
 - 常温保存がきくもの
 - 未開封のもの
 - お米は常識の範囲で古くないもの
- 食材の提供を希望される方は老健みぬま(048-294-9222)へ事前にお申し込みください



協同病院の

再生医療の
最前線

埼玉協同病院の関節治療センターを取り上げる特集の2回目です。今回は「再生医療」がテーマです。

健康寿命を延ばして人生の質を高めるために、再生医療の選択肢をぜひ知ってください。

整形外科・関節治療センターのもう一つの柱 膝・股関節治療の新しい選択肢 埼玉協同病院の再生医療

関節治療センターの2つの柱。前号で紹介した人工関節手術と、今回紹介する再生医療です。再生医療は自分の体の細胞を使うため、副作用がありません。いま注目の再生医療について聞きました。



関節治療センター
センター長
仁平 高太郎 医師
整形外科 主任部長



関節治療センター
副センター長
桑沢 綾乃 医師
整形外科 部長



再生医療って、どんなもの？

関節治療センターは、前号で紹介した人工関節手術と、今号で紹介する再生医療を二本柱に据えて、関節痛の治療を行っています。

「再生医療は、自分の体の細胞を使って

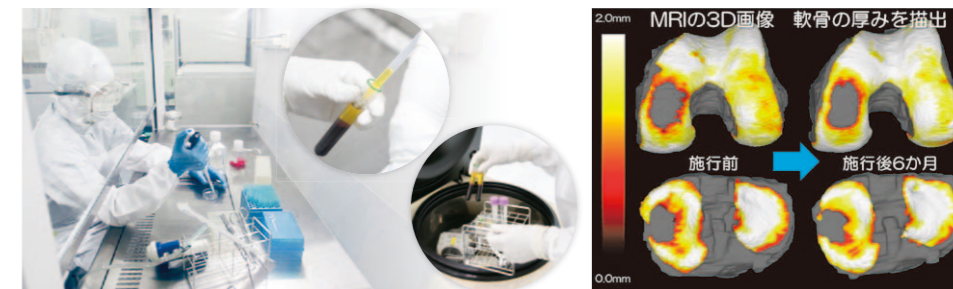
傷んだところを治そうとする新しい医療です。トカゲのしっぽが切れても伸びてくるように、人間にも、傷を修復する力（再生力）が備わっています。その力を使って、関節症の症状改善を目指すのです」と話すのは、センター長の仁平高太郎医師。

「ただ、軟骨が消失し変形した関節が元

どおりになるわけではありません。骨の変形はそのままなので、効果があれば、傷んだ軟骨が少し修復する、痛みがある程度おさまるといふ具合です」変形した関節自体を人工関節に取り換えて、痛みをなくす人工関節手術に比べると、再生医療は、マイルドな治療法だといえます。「薬で治療するのではなく、自分の体の細胞を使うので、海外では、セルセラピー（細胞治療）と呼ばれています。細胞に依存するため、効果は人それぞれ違うのですが、最大のメリットは、自分の細胞でするので副作用がないこと。安全性が非常に高い治療なんです。再生医療をした患者さんも、口コミで、たくさんお友達を連れてこられます」

最新機器を備え、
3種類の治療法から選べる
施設は、国内でもごくわずか

実際に、どのように軟骨が再生されているのか画像を見せてもらいました。全ての症例で軟骨が再生しているわけではないですが、確かに欠損部分が小さくなっている例もあります。「最新式のソフトウェアを導入し、軟骨ができていのかどうかをMRIで確認できるようにしているんです。国内には、まだ数台しか入っていない最新式です」と仁平医師は胸を張ります。「本来軟骨は一度損傷すると再



生しないものと言われてきました、軟骨が修復すること自体、本当に画期的。再生医療の可能性を感じます」と桑沢医師も手ごたえを感じています。

関節治療センターでは、自分の組織（脂肪・血液・軟骨）を使った3種類の再生医療を行うことができます。いずれも厚生労働省の認可が必要ですが、認可施設は非常に限られています。膝と股関節の両方で、3種類すべてを選択できる施設は国内でも数施設しかないといえます。それぞれどんな治療なのか、一つひとつ見ていきましょう。

1) 自分のおなかの脂肪組織を使う「脂肪由来幹細胞移植」(保険適応外)

腹部から脂肪組織を少し採取し、その中にある幹細胞を培養して数千万個に増やし、股関節や膝の関節に注射する方法です。「おなかの脂肪組織に隠れている幹細胞は、山中伸弥教授が開発したiPS細胞と同類の細胞で、自分で増殖できる能力や、骨・筋肉・軟骨などに分化できる

能力があります」と仁平医師。その力に期待して、関節の環境を改善し、軟骨修復を目指します。

2) 自分の血液を使う「PRP療法」(保険適応外)

血液を採取し、遠心分離によって濃縮した血小板を含むPRP液を作り、股関節や膝の関節に注射する方法です。「例えば、浅い切り傷は、放っておけば治りますよね。それは、血液中の血小板が集まってきて、成長因子やサイトカインを放出し、組織を治してくれるからです。この生体活性物質の力を利用して、炎症や損傷を治しましょうというのがPRP療法です」PRPには、いろいろな種類の作成キットがあり、キットによって血液成分の比率も違うため、治療効果も違うそうです。その中で、関節治療センターでは、次世代型と言われるAPS™やスタンダードなCondensia™、小さい関節や関節外(腱鞘炎)にも使用できるPFC-FDなど数種類を揃えています。

3)自分の軟骨細胞を使う「自家軟骨培養移植」(保険診療)

膝の外傷や離断性骨軟骨炎という病気の方にのみ適応となる治療です。正常な軟骨を少し採取し、培養して軟骨のシートを作り、欠損した部分に移植する方法です。「軟骨細胞を耳かき一杯くらい取り、10円玉くらいの大きさに育て、欠損した軟骨に貼ります。注射ではなく、手術を伴います」

再生医療は効果の出る人でない人がいる

関節治療センターでは、この3種類の再生医療を扱っていますが、いずれも、希望すれば誰でもできる・効果が出るというものではありません。「元どおりではなく、傷んだ組織をある程度修復することが目的なので、症状がひどい人には効かないこともありますし、効いたとしても効果は1～3年くらいだと思われま。その間に骨の変形が進行し、いずれ手術が必要になることもあります」日本屈指の治療実績を誇る関節治療センターでは、レントゲンやMRIなど多角的に評価しどの位効果が期待できるかなど、どの治療がベストかなど総合的に評価しています。「再生医療を希望する人のうち、実際にできるのは10人中5人いるかど

うか」と仁平医師。骨の変形が進んでおらず、軟骨の欠損が部分的にとどまっている変形が軽度～中程度の場合や、変形も重度で症状がひどくて脚が痛いけれど、家族の介護や仕事の都合でどうしても2年くらいは手術ができないという場合、再生医療を考えるといいそうです。

自費診療ではあるけれど「赤字覚悟」の低い価格設定

気になる費用ですが、軟骨細胞を使う療法のみ保険診療(適応疾患の条件あり)で、血液と脂肪細胞の2種類は自費診療です。価格表は関節治療センターのホームページで見ることができます。

「再生医療は、保険外診療であり、価格設定は自由。なので世の中には、残念ながらこの診療に特化して利益を追求するクリニックも多いのが実情。でも、うちは手術も行う総合病院です、これでお金をもうける気は全然ない。もちろん、無理に再生医療を勧めることもありません」

「関節治療センター」の名称に込めた思い

このように、再生医療と人工関節手術を柱に、全国でも類を見ない治療体制を整えている埼玉協同病院。

その思いは、施設の名称にも表れてい



ます。副センター長の桑沢医師が言います。「世間では、人工関節センターという名称が一般的ですが、私たちは、あえて『関節治療センター』と打ち出しました。手術に特化せず、関節痛で困っている人はすべて助けたい。再生医療から手術まで全部できる、何かしらの力になりたいという思いを込めています」幅広い選択肢があるから、その人にとってどの方法が有効かがわかるし、万一、効果がなかった場合も次の何らかの手を差し伸べられる。たくさんの切り札があること、それが強みであり、患者さんの安心感につながると桑沢医師は話します。

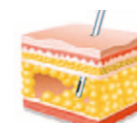
まずは、適切な診断を受けることが大事です。旅行に誘われても行けない、友達や家族の歩くスピードについていけない、洗濯物を持って階段を上がれないなど、痛みのせいで楽しい生活を我慢していることに気づいたら、ぜひ一度、ご相談ください。

種類	内容	2018年度	2019年度
ASC療法 (脂肪由来間葉系幹細胞移植)	腹部の脂肪を採取、精製し細胞を培養(6週間)。その後、数千万に増えた間葉系幹細胞を関節注射する。6ヶ月後に2回目投与。軟骨の欠損が少ない方では軟骨修復の効果が大きい。 ●適応 変形性股関節症 変形性膝関節症	57件	45件
PRP療法 (血液)	APSTM 関節内注射	134件 (全国1位)	269件 (全国1位)
	CondensiaTM 関節内注射	2件	3件
PFC-FD療法 (血液)	自身の血液から抽出した修復因子を濃縮、無細胞化し、成長因子だけを抽出。フリーズドライなので常温で6ヶ月の長期保管可能。関節注射するときに溶解するため、小関節・関節外に使用	15件	3件

1. 脂肪由来幹細胞移植

(保険適応外(自費診療)治療可能部位:膝・股関節)

ご自身の腹部から脂肪組織を少量(20ml)採取します。その中にある体性幹細胞だけを6週間かけて培養し数万細胞数程度に増やします。その幹細胞を関節内に注射することにより、幹細胞から抗炎症サイトカインや成長因子などの修復因子が多量に分泌され、傷んだ組織に対し炎症の鎮静化や疼痛緩和、組織修復が期待できます。また、幹細胞には分化能があり、軟骨への分化・再生の可能性もある治療です。



脂肪組織採取

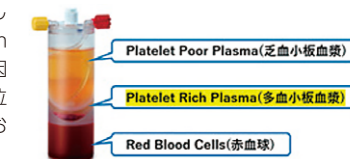


脂肪由来幹細胞

2. PRP(Platelet Rich Plasma)療法(保険適応外(自費診療)治療可能部位:膝・股関節)

ご自身の血液を少量(30～50ml)採血し、それを遠心分離することにより損傷した組織を修復する役目のある血小板を濃縮したPRP液を精製、関節内へ注射します。PRPは抗炎症サイトカインや成長因子などの組織修復因子を多量に含むため、傷んだ組織に対し炎症の鎮静化や疼痛緩和、組織修復を期待することができます。

当院ではPRPの中でもPRPをさらに濃縮し効果を増幅させたAPS(Autologous Protein Solution)、フリーズドライに加工して修復因子のみを使用するPFC-FDなど、症状・部位に応じて数種類のPRPの使い分けも行っております。



入院中も「満足度100%」を目指して 関節治療センター病棟看護からの視点

私は仁平先生の外来で、手術で使う自己血(自分の血液)の採血を担当しているのも、患者さんと最初にお会いするのは入院前。緊張しながら、飛行機や新幹線で遠方から来られる患者さんも多く、リラックスしていただけるようにいろんな話をします。入院中も、皆さんが退院後にしたいことを聞いて、リハビリのスタッフに伝えます。ヨガや散歩、旅行、温泉、山登りなど、皆さんの希望が叶うよう、いつも寄り添う気持ちで患者さんをサポートしています。

平林 綾子 看護師 D2病棟看護科

人工関節手術をした患者さんが退院まで過ごす入院病棟での看護を担当しています。先生方が目指す「満足度100%」は、入院中も含めた満足度。しっかり歩けるようになって笑顔で帰っていただけるよう、転倒防止から日常のお世話まで目配りしています。コロナの影響でご家族が付き添えない状況なので、「あれを取ってほしい」など、ちょっとした要望も患者さんが遠慮なく言える、一番近くて話しやすい存在でいられるようにと心がけています。

児玉 裕美 看護師 D2病棟看護科 副主任



新型コロナウイルス感染症は病院の経営にも大きな影響を与えています。

埼玉協同病院建設リニューアルに向けて 加入・増資をお願いします

掲載CGは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。提供：竹中工務店

Q 出資金ってなに？

A 寄付金ではなく
組合員が出し合う病院運営
のための資金です。

埼玉協同病院は「医療生協」の病院です。利用する人が組合員になり、出資金を出し合って運営する“組合員のための病院”です。出資金は寄付金ではなく、定款にそって全額返金されます。

建設計画で掲げた今年度の目標は9,600万円。新規加入者は3,650人です。当院は現在、2つの病院への建設リニューアル計画を進めています。建設費や医療機器の購入のため、建設増資の取り組みを行っていますが、11月10日現在、出資金達成率は50%。まだ目標の半分です。

Q なぜ今、出資金が必要な？

A 新型コロナの影響で経営が
きびしくなっています。

当院では大型モニター検温システムの導入など安心して受診していただけるよう感染対策に万全を期して取り組んでおりますが、コロナ禍によって病院に来る患者さんの数が大幅に減り、全国の多くの医療機関と同様に、経営がきびしくなっています。



Q 加入・増資するには どうすればいいの？

A 病院の窓口へ。
口座引落としでの
積み立ても

まだ組合員になっていない方は、ぜひ加入してください。家族組合員の方には個人加入をお願いします。組合員になることで、健康診断など組合員料金で利用できるサービスもあります。組合員の方は、ぜひ増資をお願いします。

出資金は1口1,000円から加入できます。できるだけ3口以上でお願いします。埼玉県在住・在勤なら誰でも組合員になれます。積み立て増資や口座引き落としも便利です。どの職員でも手続きができるので、外来やリハビリ、入院・退院の際などに声をかけてください。会計の隣にある「生協コーナー」でも受け付けています。

医療や経営を守る貴重な資金としての出資金に、ご協力をお願いします。

当院の感染防止対策、 患者さんへお願い

患者様が安心して来院できるよう感染防止対策を実施しています。ご理解、ご協力をお願い致します。

私たちと一緒に、
安心・安全な環境を
つくっていきましょう。

吉川 奈津美
感染管理認定看護師
感染管理室 指導員



患者さん
お一人お一人の
ご協力が必要です！

吉田 智恵子
感染管理認定看護師
感染管理室 部責任



当院の新型コロナウイルス感染防止対策・院内の取り組み

- 感染を疑う症状がある方の診察はエリアを分けています。他の患者様と接触がないようにしています。
- 出入り口を防災センター入口のみに制限しています。
- 病院玄関の開錠時間を8時に変更しています。①
- 病院バスの消毒、清掃、換気を定期的に行っています。②
- 受付窓口へ飛沫防止シートを設置しています。③
- 院内で多くの人の手が触れる場所(受付機、精算機、ソファなど)を定期的に消毒しています。④
- 入院患者様には面会制限し、オンライン

- 面会を実施しています。(病院からご家族へ来院をお願いした場合は感染防止対策を取った上で病棟へ立入りします)
- 全ての緊急入院、全身麻酔の予定手術患者の方にCTとPCR検査を、出産予定の妊婦の方の入院にPCR検査を実施しています。予定入院の方には2週間の体調チェック・検温をお願いしています。
- 職員は出勤前の検温と体調確認を行い、症状がある場合は勤務制限しています。
- 職員は感染防止対策の一環で、マスクやゴーグル、フェイスシールド、ガウン、グローブを適切に着用し、手指消毒を徹底しています。



患者様へのお願い

- 外来受付時間内は、病院入り口では職員による感染トリアージを行っております。発熱や風邪症状のある方は入口の職員にお申し出ください。発熱が続いている方、咳、息苦しさ、味覚嗅覚異常のある方は、来院前にお電話でご連絡をお願いいたします。
- 入口で大型検温モニターによる検温を行っております。⑦モニターで発熱がわかった患者様はすぐに職員にお知らせください。患者様以外の方で発熱のある方は入館をお断りしています。
- 防災センター入口から売店までは右側通行としています。⑤⑥
- 来院される方にマスクの着用(未就学児除く)、咳エチケットと病院入口でアルコール消毒液による手指消毒のご協力をお願いしております。アルコールにアレルギーのある方はノンアルコールの消毒液をご用意していますので職員にお声かけください。



専門医
シリーズ
23
SERIES

守谷 能和

医師、日本救急医学会専門医
救急科
内科副部長、救急科科长

救急に加えて 新型コロナ対応も 分け隔てなく

地域の中で 人の役に立つ仕事がしたい

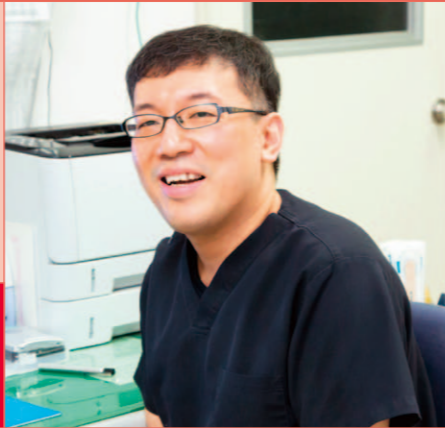
24時間体制で救急の患者さんを受け入れ、治療を担当する救急医の守谷医師。新型コロナウイルス感染症への対応もあって多忙を極めながらも、その表情と語り口は温かく穏やかです。

「それぞれの状況の中で、自分がこういうことをやれば全体のためになると思ったら、一生懸命やる。どんなに大変でも、無駄なことは一つもない。その思いで、何事にも取り組んできました」

世の中の役に立つ職業に就きたいと思い、医師を志したのは高校生のとき。一度は別の学部に進学したものの中退し、親に負担をかけまいと新聞配達をしながら医学部を目指したそうです。

「無差別・平等」を掲げる埼玉協同病院。救命救急室(ER)の守谷能和医師は、その理念を最前線で体現している一人です。さまざまな病気や事情を抱える人を受け入れるために、医療の質の向上や体制づくりに努め、地域からの人望を集めています。

プロフィール▶ 2005年香川大学医学部卒業。同年、埼玉協同病院入職。2014～2015年北九州の健和会大手町病院救急科で研修。2015年7月より埼玉協同病院ER。日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本救急医学会専門医。



医療生協さいたまが実施している高校生向けの「一日医師体験プログラム」に参加したことから奨学生になり、大学時代は医学連(全日本医学生自治会連合)の中央執行委員長も務めました。

卒業後、地域医療の現場で働きたいと埼玉協同病院に入職したのが15年前のことです。

消化器内科医として 腕を磨いた10年間

最初の10年間は、消化器内科を担当していました。

「難しい症例や専門的な手技が多く、目の前の患者さんを助けられるだけの技術や診断能力、プロフェッショナルを身につけなければ医師としてのスタート地点に立てません。親切な病院だから診断が甘くていい、技術が

劣っていないなどということは絶対にあってはならないので、自分の力量や専門性を高めようと、必死で勉強しました」

そして10年目、院長から「救急を担当してほしい」との声がかかります。当時はまだ救急科がなく、地域の中で必要性が高まる中での指名でした。

「救急は当直でなんとなく経験はしていましたが、また一から勉強です。救急病院で1年間研修し、帰ってきて本格的に救急医療を始めました。すると、地域の特性や患者さんのことが、すごく見えるようになったんです」

どんな医療が必要なのか 救急の現場に来てわかった

川口市、特に南部は昔から労働者の町で、生活に困窮している人も多く、人

口比率が多いわりに医療機関や医師の数が少ないという問題があります。

「地域の課題を頭では知っていたし、我々がどんな医療をしなければいけないかも理念としては理解していたつもりでした。でも、救急医療に携わるまではあまり実感がなかったんです。

救急で働くようになって、大変な生活をしている人がたくさんいることを身をもって知りました。家の中で倒れて、誰にも発見されず、ようやく救急車で運ばれてくる人がいる。救急隊も、搬送先が見つからなくて日々困っている。他ではなかなか受け入れられない人たちを受け入れていくのが医療生協や我々の役割の一つなんだと、いまは痛感しています」

そうした人たちを迎え入れ、治療や生活環境の改善につなぐ“かけこみ寺”が救急科。『季刊ふれあいNo.18』でも紹介しましたが、1台でも多くの救急車を受け入れたいと守谷医師は言います。

新型コロナも恐れず 力を発揮するのが医療者の役割

そうした中で、新型コロナウイルス感染症の流行という大きな社会問題が起きました。ICD(インフェクションコントロールドクター)という、感染制御

資格の認定をもつ守谷医師は、病院内の感染防止対策や検査体制づくりを中心に担当。救急に加えて、仕事量が2倍に増えました。

「救急の現場でも常に気が抜けません。コロナに感染しても無症状の人が結構いるので、まったく違うケガや病気で救急車で運ばれてきて、検査をしたらコロナウイルスが陽性だったという場合もあります。

スタッフ全員が感染対策を徹底しながら適切に診断していくことが重要で、物理的にも精神的にも負担は大きいですが、救急を担当しているからには、自分達が中心にやらなければいけない。誰も経験したことのない危機や災害の現場で力を発揮するのがプロフェッショナルリズムであり、医療者の本来の役割だと思えます」

診察や治療の傍ら、国内外の論文を読んで最新情報を頭に入れる毎日。感染症について、これほど深く勉強したこととはなかったと守谷医師は言います。

「大変ではありますが、人として、医師として成長できる得難い機会だと捉えています。コロナ禍を機に、働くとはどういうことなのか、人生において何が大事なのか自分がの中で明確になったようにも思います」

助け合える世の中に

コロナ禍をきっかけに、人々の意識や行動も大きく変わりました。

「デマが出回ったり、感染した人へのバッシングが起きたりしていますが、今の時代にこういう差別的なことが平気で行われるとは、どういう世の中なのかと情けなくなります。大事なものは、正しい知識を身につけて、正しい対処方法を共有することです」と守谷医師は言います。そして、こういうときこそ、組合員同士のつながりや助け合いが大切だということも。

「新型コロナは、お金のある人もない人も同じように感染します。誰もが平等に治療を受けられなければ収束しません。社会全体を良くするためにも、どのような医療が必要かをみんなで考えていけたら」

埼玉協同病院をより働きやすい職場にして、少しでも地域や社会の役に立てるような医療を今後も続けたい。

身近なところから良くなって、それが広がっていけば、全体が良くなっていく。そんな世の中を目指して、今こそ、地域全体、組合員全体で医療を支えていければ。それが守谷医師の思いです。

「コロナ禍の今だからこそ!」 診療場面で、 自分の意思を確実に 医療者に伝えよう

「賢い病院のかかり方(賢い9条)」より

私たちの社会には、さまざまな要因による健康格差が生じています。昨日より今日、さらに明日をより良く生きるために、自分を変え、社会に働きかけて、この格差をなくすような健康づくりの運動を進めましょう。

埼玉協同病院利用委員会は、2019年、「賢い病院のかかり方(賢い9条)」を学び、「診療場面で、自分の意思を確実に医療者に伝えよう」と、医療懇談会などの企画づくりに取り組みました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、数支部でしか医療懇談会を開催出来ませんでした。

そこで、2020年度の医療懇談会では、「コロナ禍の今だからこそ!診療場面で、自分の意思を確実に医療者に伝えよう」をテーマに再度学び交流します。



日常診療を通して感じていること、組合員に伝えたいことを医師からの講義等を通して伝え、意見交換する場とします。

また、埼玉協同病院の活動のふりかえりや利用委員会の活動のふりかえりを通して、健康づくり・まちづくりをすすめる懇談会にしたいと思います。

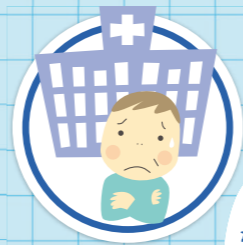
医療懇談会プログラム

- 医療生協さいたま 賢い病院のかかり方(賢い9条) の学習
- 『診療場面で自分の意思を確実に医療者に伝えよう』DVD学習と意見交換
- 日常診療を通して感じていること、組合員に伝えたいこと。医師講義「脂質異常症とは」又は「専門領域講義」と意見交換

「診療場面で自分の意思を確実に医療者に伝えよう」DVDより



血圧たまに150以上



でございませうか?

診
療
制
度

無
料
低
額



医療生協さいたまキャラクターココロ星にくらすココロ

治療費が払えないという理由で受診できない方々に、「相談できるかもしれない」と思いいただいて、受診につながるきっかけをつくらうという制度です。



ひとりで悩まずにご相談ください!
水本 留美子
社会福祉士
医療社会事業課 主任

◎ 制度は誰でも利用できるもの?

医療生協さいたまの診療費減免の基準を満たすことが必要です。

また、生活全体が困窮している場合は、この制度利用よりも、公的な制度、例えば生活保護を必要とされているケースも多いです。

◎ 制度の問い合わせはどれくらい?

19年度は94件の相談がありました。実際に制度活用となったのは33件です。相談のなかでは公的制度につなげたり、生活を支えるアドバイスをしています。

- ①受 付 受付でお申し出ください
- ②相 談 社会福祉士がお話を聞きます。
- ③適 用 適用になれば、医療費の自己負担金を免除または減額します。
- ④これから まずは必要な医療をきちんと受けながら公的な制度や社会資源の活用など、生活についても一緒に考えましょう。



たまねぎベビー といっしょに

小児科受診

自分で訴えることが難しい子どもの診察には細かな情報や具体的な材料があると診断の助けになります。そして、しっかり診察や治療を行うためには子どもたちの協力も大切です。どんなに小さな子どもでもきちんと必要性を伝えることが重要です。お子様の具合が悪いときは心配です。受診の時も慌ててバタバタしてしまいがち、そんな時は一呼吸して受診のポイントを思い出してみてください。

コロナ禍の中、小児科の受診が減っています。マスクや手洗い・うがいを徹底することは予防効果が高いのだと感じる一方、必要な受診まで控えてしまっていないかという心配もあります。必要な時にスムーズな診療を受けることができるようご協力お願いいたします。



上手な小児科のかかり方10ヶ条

- ①かかりつけ医を持ち、診療時間内、早めの受診を心がけよう!
- ②子どもの普段の様子がわかる人が付き添って受診しよう!
- ③いつからの症状でどう変化しているかを伝えよう! 特に体温の変化は細かくメモを!
- ④お薬手帳と母子手帳を持参しよう!
- ⑤診察や検査、注射や薬の必要性をきちんと説明してあげよう!
- ⑥伝えたいこと、聞きたいことをメモしておこう!
- ⑦症状が現れたときやひどいとき、気になる様子の画像や動画を撮っておこう!
- ⑧下痢や血便などの時はできるだけ新しいオムツを持参しよう!
- ⑨休日・夜間の受診に迷うことがあったらまずは#8000に電話を!
- ⑩健やかな成長発達のために健診や予防接種は予定通り受けよう!

皆様が安心して来院できるよう
感染防止対策を実施してお待ちしています!!!